

右馬場向ふのちうと一番小付しりし鉄砲
小當て痛むと見ふ其日軍八伊右田中後
て北しか頓て城降へ一番小付しりし付
やいぬや赤牌を以て味方を招き我徒を以
て一番小堀へ付しりし其日軍八と呼て
堀小戦ひし軍八隨の柄とやりおとせ
る力と抜てお御く爰又栗田智の内
関右京八軍八方此使とて前寄しり来り
うるか城攻の様子を以て軍八にいたく
むちにけ場小池来りし文字の遣を以て堀上

から款とらに突合しか十文字小掛合を
はし外しとするかといと軍八お見せ銅又の
掛外しとするかといと軍八お見せ銅又の
からかりしとするかといと軍八お見せ銅又の
おく川御守と其款の十文字小に其日軍八
奪なり其法を以てお御ふ款使方たに余
と悟りし血煙細立て戦ひしか中板の
堀ありしと破りかたくとるしりし
物に其日軍八に為て我徒のしりし
に投りしと旗竿に結びしとたえた